

## 令和3年度北海道若者活躍プロジェクト推進協議会 議事概要

日時 令和3年10月25日(月) 15:00~17:00

場所 北海道大学学術交流会館第一会議室(札幌市北区北8条西5丁目)

次第及び出席者は別紙会議資料を参照

### 議題1. 一般社団法人中小企業家同友会の参加について

北海道(笠井課長)から、資料1に基づき説明があり、原案どおり了承され、令和3年10月25日付けで北海道若者活躍プロジェクト実施要綱を修正することとなった。

### 議題2. 若者に選ばれる企業に向けての推進方策について

北海道商工会議所連合会(佐藤氏)から、資料2に基づき説明があり、意見交換があった。

(質疑等)

意見: スキャナビについて、函館高専では3社しか出てこない。求人に来ている企業も出てこない。専門学校のカテゴリーで登録されているのではないか。高専の登録情報をご確認願いたい。(函館高専/小林副校長)

回答: 登録情報を確認し、後日回答したい。(道商連/佐藤氏)

意見: 就職率のデータについて、本学では10月、12月、2月、3月とハローワークに内定率を提出しているの、ハローワーク経由で情報を集めると良いのではないか。(室工大/永野学長補佐)

回答: 今後の事業展開にあたり参考にさせていただきたい。(道商連/佐藤氏)

意見: 協会として組織だった取組ではないが、現場見学会を各地で100件程度実施している。会員企業のほとんどが工業高校や農業高校の生徒を採用しており、高校生を対象にした見学会となっている。高校生生向けのインターンシップは、会員600社のうち、100社が実施している。

大学生も採用したく、COC+及び北海道若者活躍プロジェクトに参加してきて、実際に大学生にも入っていただいているので、今後も大学・高専との連携を強化していかなければならないと考える。(建設業協会/栗田副会長)

意見: 企業と学生の接点が少ないことの解決策として、各校に説明会の受入れを依頼している。そこで、IT業界の説明や求められる人材に関する説明を行っている。今後も教育機関には、説明の機会を設けていただきたい。(IT推進協会/塚本委員長)

### 議題3. 地域教育ワーキンググループの検討状況について

室蘭工業大学(永野学長補佐)から、資料3に基づき説明があり、意見交換の結果、今後

地域教育ワーキンググループ（以下「WG」という。）に北海道庁が参画することについて、北海道庁と室蘭工大を中心に相談することとなった。

（質疑等）

意見：本事業に参加している大学・高専は、地域企業、地域の現状を理解する授業を実施している。本地域教育を受けた学生を採用活動で優遇してくれる企業があるので、道内就職優遇制度が成り立っている。大学・高専は、カリキュラムとして実施しているため、事業が終了しても継続して学生を育成する仕組みがある。一方、企業側の情報を更新していく必要があり、現在は室蘭工大が行っている。事業終了後に企業情報の更新をどこが行うのか。北海道としてどこまで本件に関わっていいのか。（函館高専/小林副校長）

意見：現状の地域教育 WG の議論には限界があり、今後の道内就職優遇制度の議論を行うには、本 WG の在り方を検討しないといけないと考える。本 WG は、教育機関と個別の企業からの企業人がメンバーである。教育機関は、企業の求人・採用に直接関与することが出来ず、また、WG の企業人は企業群の代表ではない。（室蘭工大/永野学長補佐）

意見：当初 WG は、地域教育について教育機関がそれぞれどうするかを議論してきたと思う。現在は、各校の地域教育の議論が一段落し、学生をどうやって企業とつなげていくのが課題と思う。WG メンバーの教育機関や個々の企業ではわからない点があるので、全体を俯瞰的立場で見ることができる北海道庁には、本 WG の議論に参加していただきたいと考える。（室蘭工大/松田理事）

意見：COC+と北海道若者活躍プロジェクトで教育プログラムを構築し、道内企業に受け入れてもらうための仕組みは出来てきた。この成果を今後残していくのかを議論するには、北海道庁に本 WG に参加いただくことはいかがか。（室蘭工大/永野学長補佐）

回答：道庁経済部では、様々な人材確保の支援、施策を実施しているところであり、これらも踏まえて、これまで積み上げてきたものを残していくことについて、今後、室蘭工大を中心に相談させていただきたい。（北海道/笠井課長）

## 報告 1. 北海道及び各拠点の活動状況について

北海道及び各拠点より資料 4 に基づき報告があり、各拠点の情報共有、意見交換が行われた。

（質疑等）

質問：採用活動について、対面が減少しオンラインに頼るケースが増えていると思う。企業にとっては、ホームページ等により情報を発信していく必要がある。情報発信する場合にどのような内容で学生に発信していけば良いのか。また、室蘭工大の報告

にあった「ブランディングセミナー」について、企業の参加要件、参加費はどうなっているか。(北洋銀行/熊谷管理役)

回答：企業はコンサルティングの中で、情報発信内容を改善しているが、企業秘密が含まれるためコンサルティングに室蘭工大は入っていないが、募集職種を改善した例があると聞いている。具体的には、「〇〇スタッフ」から「エンジニアリング〇〇」等学生に響く名称に変更した例がある。

また、ブランディングセミナーの対象は室蘭市内の企業を対象としている。担当する講師は中小企業庁の事業で派遣されており、参加費は無料である。(室蘭工大/那須特任教授)

## 報告 2. 令和 2 年度就職状況について

北海道（笠井課長）から、各拠点における道内就職率の実績は、資料 5 のとおりである旨、説明があった。

以 上